

2021地域ミーティング
[国高・北日野・北新庄・味真野地区] 開催結果

開催日時 令和3年8月6日（金）午後7時から午後8時まで
会場 越前市社会福祉センター
出席者 総数40人
（自治振興会）国高・北日野・北新庄・味真野地区会長ほか、各地区役員・
区長
（市側）市長、総務部長、市民福祉部理事、産業環境部理事、建設部理事、
官民連携プロジェクト推進室長
司会進行 市民協働課長
記録 防災危機管理課

◆開会・目的説明 市民協働課長

【市政ミーティング】

◆市長 挨拶

- ①北陸新幹線「越前たけふ」駅周辺官民連携プロジェクトについて
- ②新型コロナウイルス感染症対策ほか
 - ・令和2年度3月補正予算、令和3年度当初、6月補正予算について
 - ・水道料金について
 - ・新型コロナワクチン接種について

【質疑応答】

Q-1 :

アフターコロナ時の地域活性化施策について（味真野地区）

質疑というより要望といったものになるが、アフターコロナの時期において、地域活性化のための施策をお願いしたい。

新型コロナ禍により、一昨年までは毎年開催していた万葉まつり、地区体育祭、納涼祭といった地区を挙げての行事を去年今年と2年連続して中止しています。また昨年からは人と人との距離を設け、人と人との間に壁を置かなければならないような現状となっており、非接触型社会になりつつあります。このままいくと市全体が沈滞し続けていくのではないかと懸念しています。今後ワクチン接

種も進んで来年には新型コロナも収束するものと信じているところですが、来年3年ぶりに地区行事の開催は、果たして昨年までのような盛り上がりができるか懸念しています。来年度の地域活性化のための支援をお願いしたいと考えています。

地区でも努力したいと思っていますが、市でも地域活性化のための施策に知恵を出していただくとともに、助成金等の予算計画をしていただくようお願いいたします。地域活性化のための知恵とお金、しかも使いやすいお金、縛りのない助成金をお願いします。

A-1：市民協働課長

日頃より地域自治振興事業に多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、コロナ禍の状況にあつて、地域自治振興事業に携わる地域の皆様に深く敬意を表する次第です。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、地域自治振興事業の実施にあたっては、マスク着用や3密を避けることに代表されるような感染防止策を取ったうえでの実施となっており、コロナ禍以前のような取り組みが難しいのが現状であると認識しています。

しかし、そのような状況の中でも、地域のことを思い、住民同士の絆を守るために知恵と工夫を凝らした様々な地域自治振興事業への取組みも着実に広がっているように思います。

その地域自治振興事業の実施にあたっては、市から地域自治振興事業交付金を交付しており、今後も地域自治振興事業交付金の予算については例年同様の規模を確保できるよう努めてまいります。

また、地域自治振興事業の企画や実施にあたっては、各地区を担当しております地域支援員が各地区と情報共有し、様々なアイデアや知恵出しのお手伝いをいたしますので、これまで同様、お気軽にご相談くださいますようお願いいたします。

Q-2：北日野地区版フォレスト構想について（北日野地区）

新幹線駅の完成と駅周辺開発が目前のことになってきました。それに従い、北日野地区の中心が駅の方へ大きく変わろうとしています。これから地権者と市や企業との話し合いが始まりますが、心配は地権者など一部のところで話が進められ、北日野地区住民がいつしか取り残された、あるいは期待した方向と違った方向となって行くことが心配されます。

今回めでたくパートナー企業も決まり、企業案に移っていくわけですが、一部の地権者だけでなく、これからも北日野住民に継続的に情報提供や進捗状況の

説明をお願いします。

開業が遅れたら遅れたなりに、進んだら進んだなりに元気な北日野作りを自治振興会はしていきたいと考えていますので。市の誠意ある対応をお願いします。

北日野自治振興会としては、特に駅周辺開発にあたり、市の掲げるフォレストシティ構想を強く支持します。

森の中にまちがある、緑に囲まれて工場がある、しばらくは田園風景の中にホテルなどが立つが、決して無機質な工場群が立ち並ぶ風景にしていただきたいのではない。森の中にまちがある、新幹線駅を降りた人が緑豊かな軽井沢かと思えるようなまちづくりをお願いします。家族連れでゆっくり歩いても楽しめる、スマートシティ、フォレストシティとなるよう切に希望します。

さらに北日野地区として、駅周辺開発をしっかりと見守っていきたいと考え、新幹線駅や周辺開発がよく見えるビューポイントを整備していきたいと考えています。村国山山頂、どんぐり山、岩内山、日野山、小野谷白山神社などのビューポイントを整備し、お誕生寺や新幹線駅など、北日野の名所を結んだハイキング、サイクリング、ウォークラリー等の事業を企画したいと考えています。利用者が増えれば、歩道や休憩場の整備も必要となり、市の知見をお願いすることとなります。

地区、市民が思い思いに楽しく、緑と便利なまちづくりを目指していきたいと思っています。

駅周辺開発は、こうした北日野版フォレスト構想の一丁目一番地となることを考えています。

A-2：官民連携プロジェクト推進室長

本市では、令和2年3月に策定したまちづくり計画において、緑と建物がバランス良く配置され、緑の景観に溶け込んでいるフォレストシティ、またあらゆる産業や施設において、未来的なチャレンジを進めるまち、具体的にはすべての産業のスマート化を目指し、越前市の拠点となるエリアの創造を目標とするスマートシティをまちづくりの理念に掲げています。

現在、この越前たけふ駅周辺のまちづくりに取り組むために8月2日に、官民連携プロジェクトのパートナー企業である戸田建設㈱を選定しました。

選定結果につきましては、8月3日から開催しています地域ミーティングや8月9日に開催予定の地元団体であります、まちづくり協議会の総会にて報告をさせていただきたいと考えています。

今後この3者で取り組んでいくわけですが、協定締結後は具体的な駅周辺のまちづくりを進めていくために、事業実施計画書を作成していきます。この計画

の作成に当たっては、地元の皆さまや関係団体等へ、適宜、進捗状況等をご説明させていただくとともに、ご意見を集約しながら、今後まちづくりを進めてまいります。

◆閉会